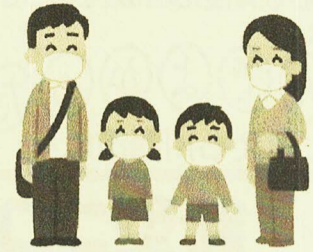


「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ(6次) 8月30日の申し入れ(要旨)



1、5月10日に申し入れた内容(5次分再掲)を徹底、強化すること

2、クラスター対策と広範な検査を徹底すること

保健所の指導があるものの濃厚接触者の範囲を狭めず、市として公費で徹底して頻回なPCR検査、抗原検査を実施すること。

陽性者に対して、医療・療養施設を十分確保することは必須です。自宅放置にならない手立てを市としても構築すること。DVや虐待による避難、災害時による陽性者の受け入れが困難な事例がでており、県や国と早急に連携して対応・対策を急ぐこと。

3、教室や生活場所でのエアゾル感染防止へ、短時間での全換気と不織布マスクを重視すること

教育・保育などの施設で密をさける工夫を徹底。部屋の確保、短時間で空気の入れ替え(常時換気・4か所開けなど)を行うこと。不織布マスクを支給。二酸化炭素濃度を測る機器の設置。必要な人員増や財政的支援を行うこと。

4、保育・教育現場において、一人ひとりのこどもの心身の発達を保障すること

デルタ株の蔓延で、こども・保護者は不安で一杯です。一人ひとりのこどもの実態を把握し、生活や学びへの具体的な支援を行い心身の発達保障を行うこと、課題を抱える家庭は、より手厚い手立てを、必要な職員配置・増員や財政的支援を行うこと。

5、学習指導要領を弾力化、「災害時」にふさわしい柔軟な保育・教育を保障すること

長時間、詰込み教育にならないよう、発達年齢に応じた対応・対策を行う。教育・保育現場が、こどもの安心の居場所となるよう、教職員と保護者が連携をとること。

こども達は我慢を強いられています。こども達や保護者、地域との連携で知恵と工夫、力を出し合い、学びを保障すること。教職員への研修を保障すること。

罹患者・罹患者家族、ワクチン接種で差別・不利益が起らないように配慮すること。

相談できる場所があることの周知、スクールカウンセラーや心のケア支援員の増員など、寄り添える環境整備を行うこと。

地域で
様々なことが
起こっています。
これからも
いろいろ教えて
くださいね😊

❁川西市議会には、市民や団体の方から様々な政策提言や意見書発議の請願だけでなく、様々な要望書なども届いています。全て議会ごとの議会運営委員会において、請願は付託先で審査を。要望書などは、提出者と連絡をとって、請願にすることができることを伝え、賛否をとる方がいいのか、要望のままでいいのかなどの確認をしています。

いろいろなご意見・ご要望を読ませて頂くことは、大変勉強になります。どのような内容があるのかなど、今後いろいろな機会にお伝えしていきます😊

❁たんぽぽだより 227号でお伝えしました、市立川西病院南側の道路廃止に対する「市道1889号廃止の決定取り消しを求める」神戸地方裁判所伊丹支部への提訴(被告川西市)は、10月に裁判が行われることになりました。また、情報が入りましたらお知らせします😊

大和東2丁目・・・続き

「花折街道を歩いて里山歩きをしていたんだけど、大和から街道に入れなくなるのではないか」と心配する声がありました～の記事をたんぽぽだより227号でお伝えしました。

私(黒田)は、地域住民の方からの声を受け、8月お盆明け、都市政策部及び建築指導課に建築許可などの届け出の有無を確認したところ、出ていないということでしたので、「何も届いていない」ということを記載しましたが、当該事業者から、伐採工事についての所管部署(産業振興課)への「伐採及び伐採後の造林の届出書を8月3日に提出済み」及び(環境衛生課)への「特定建設作業実施届出を8月11日に提出済み」適切に届出及び受理されていることが明らかになりました。また、建築指導課には開発計画の事前相談も提出済みであり、今後協議を進めて行く段階であるとのことでした。

「当該事業者が無届けで行っているような誤解を生む」とのご指摘を頂きましたので、改めて、お詫びを申し上げますと共に、事実をお伝えさせていただきます。

教えていただいた方、ありがとうございました。引き続き、いろいろ教えていただきますようよろしくお願いいたします。

豪雨・救援カンパありがとうございました😊

台風14号が列島を横断、毎年のように全国で起こる豪雨災害。今夏は熱海市の土石流災害の後、「2021年豪雨災害救援募金」のご協力をお願いした処、22982円の救援カンパが集まりました。一旦、8月30日に日本共産党中央委員会・災害募金係へ送金させて頂きました。ご協力ありがとうございました。引き続き取り組みますので、よろしくお祈りします。

